

# GO! GO! よしひろ

Vol.20  
JAN.2010

りん!



埼玉県議会議員

## 鈴木よしひろ活動レポート

第20号

平成22年(2010)1月発行

〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347 TEL.048-948-2070 FAX.048-948-2071

ホームページ <http://www.misato-net.com/yosshi/> E-mail [yosshi@misato-net.com](mailto:yosshi@misato-net.com)

Think together  
Go together

新春  
特別  
座談会

# 改革行動派

鈴木よしひろ県議・大山しのぶ県議・小島のぶあき県議

激動する政治の中で、改革行動派・鈴木よしひろ県議は2010年をどのように考え、どう行動していくのか?

この度、鈴木県議と政治行動を共にする盟友・小島のぶあき・大山しのぶ両県議と3人で、座談会を行い、政治の未来、埼玉・日本の将来を語り合いました。本欄ではその抜粋をご紹介します。

### 政権交代は、

### 政治家にとって在り方を

### 考え直す良い契機

鈴木義弘県議

●今の政治状況をどのようにとらえていますか?

**鈴木県議** 自民党は、先の選挙では、「子ども手当」をはじめとした民主党のリッパサービス合戦に乗ってしまった。民主党の土俵に乗ってしまった。そこで本来、自民党がやりたい政策、出したい政策や主張が出せなくて、自分の土俵で勝負ができなかった。このことは前政権政党として、これまでのこと、今後の在り方を考え直す良いきっかけになったことは確かです。  
**小島県議** 国民が自民党にNOといった。国民の考えることと、国の方向がかけ離れてきて、それを取り戻すことができなかつた。国民との信頼関係がなくなってきた。本当は政治家は将来を考えたから、欲しいものを与えるだけではない。これは我慢しなければいけないということ

を言っ、それを聞いてもらえるだけの信頼関係を国民と築くことができなくなってきた。

**大山県議** 政治のチェンジなんだけれど、今は、混乱状態ですよ。国民の皆さんは本来、自民党と民主党が拮抗することを望んでいたのではないかと。こんなに民主党が勝つとは国民は思わなかったのではないかと。それがあれよあれよという間に民主党が大勝してしまつて。そこで、これに期待しようというのが国民の気持ちだと思つていますよ。

しかし、実際になつてみると普天間基地、景気対策、高速道路無料化と課題が次々出てきました。うまく動くかどうかはわからない。これからどうなるのかと不安になつているのが国民だと思いますよ。

### ●埼玉県の現状と課題は何でしょうか?

**大山県議** 埼玉は地の利としては良いところなんです。高速道路も放射状に全て入つているし、圏央道もできる。外環もある。経済的にも東京があるから有利だと思つ。他県を見れば雇用がない中、隣の東京に比べまだまだ仕事がある。逆に言えば東京のベッドタウンということとで人口は増えている。

ただし、今後の課題は県民の平均人口が若いだけに高齢化のスピードがものす

ごい。これは埼玉に取つて課題になる。今、手をつけなければいけない喫緊の課題だけど、周囲にあまり危機感がない。

**鈴木県議** 埼玉県は災害が少ない。東京に依存している。東京に行けばモノも買つてくれるし、仕事もある。財政的には厳しいけれども、それもまだ他の県にくらべれば良い方だから。でも、時代が変わつた今、このままでは今後の発展はありません。次の発展のために、こつこつでも二度、戦略を見直さなければいけないという気がする。

**小島県議** 埼玉県は全国で5本の指に入る県だし、底力のある県だけれど、このままでも大丈夫だろうかというのんびりした性格の県だと思つ。景気対策などやるべきことはやつているし、市町村の連携もそこそこうまくいつていると思つ。ただ、これから人口が減つていく中でどうやって現状の埼玉を維持していくのか。



【2・3面に続く】

# 政治、埼玉、未来を語る!

埼玉県議会議員 **鈴木よしひろ**

埼玉

特別座談会 改革行動派・政治、埼玉、未来を語る!

小島のぶあき県議・鈴木よしひろ県議・大山しのぶ県議



**大山忍**  
●東第10区(八潮市)選出(現在3期)●1957年6月5日生まれ(52歳)●福祉保険医療委員会委員●教育改革・文化・スポーツ振興特別委員長●監査委員●八潮町立第三小～草加市立高砂小～私立早稲田中・高校～成蹊大学工学部卒業●昭和61年から国会議員秘書12年、平成12年埼玉県議会議員初当選



**鈴木義弘**  
※経歴は4面



**小島信昭**  
●南第12区(さいたま市岩槻区)選出(現在3期)●1965年9月5日生まれ(44歳)●議会運営委員長●産業労働企業委員●少子・高齢福祉社会対策特別委員●岩槻市立河合小～岩槻市立城北中学～埼玉県立杉戸農業高校～人間総合科学大学中退●埼玉県議会議員秘書～平成12年埼玉県議会議員初当選

左より 小島のぶあき県議、鈴木よしひろ県議、大山しのぶ県議

市町村が力をつけられないとなかなか難しい。私のところは、県と同格といわれる政令市(さいたま市)があるため、この位置づけが必要。国の問題だけど、県と政令市の協力をいかに円滑にするかが課題です。

今後の埼玉県は 急速な高齢化への 対応が急務

**大山忍県議** これから福祉だつて、介護だつて、ものすごくコストがかかってくる。結局、日本は世界の中で高齢化がものすごくスピードで行われ、それに準備しなきゃ大変ですよといながら、中々、難しかった。埼玉はこれからこの日本の課題がこども一回繰り返されるわけだから。今のうちに知恵をしぼって準備しないといけない。



小島県議

**鈴木県議** それは利便性を追求する一歩に対応するからそうなんだ。ニーズがあるから対応しなくちゃと、うことで迎合して、政治も「行政にやらせる」「法律もつくる」の繰り返ししてきた。しかし、そうではなくて、根本のところをどうするかということを押さえないと。国民の意識の反映、ニーズの反映が政治なんだろうけれど、それはやり追いついてきたのがこの4、5年だと思う。



大山県議

**大山県議** 私にとっては、中堅企業が持っているような情報力が、私が持っているようにあげることが必要。例えば今年度のガソリンの暫定税率の話もそう、いつ頃こうなりそうかという話は大手は持っている。だけど小売り側はわからないから高いときに買ったものを安く売れたいという話も出てくる。

標準化を改め 挑戦の気概を持った 人材育成が重要

**鈴木義弘県議** あと、今までの教育の風潮は、競争するのが良くない。みんなが仲良く、そして同じように均等にというのが行きすぎた。標準主義ですよ。しかし、今後の日本はどうしても国内だけでなく、外国に出て競争して飯を食ったり、創ったりして行かなければいけない。

今は財政出動が必要 利子補給といった 新しい政策が必要

**鈴木義弘県議** 私は今は財政出動しなくてもいいかな。住宅を建てて貰うということが波及効果が大きい。何でもみな住宅を買わないかと言えはやはり、いつ首切られるかわからない、給料減らされるかわからないという中でローンが組めない。

また上で個人のライフスタイルをどうつくっていくか。その点をどう考えなければいけないと思う。その上で政策をつくっていくかと思えば、自分がバラバラになつてしまふ。

教育については どう考えますか?

**大山県議** 私は県立高校の入試制度を変えなければだめだと思ってますよ。今回も変えなければ、もつと変えなきゃ。今までの推薦枠を多くしたのをキストしますよというところにした。98%が高校に行く。そうすると学力が伴わなくても高校にいける。一部では高校で中学の授業をやるんですよ。おかしいだろう。だから入試制度を変えれば教育は変わってくる。

これからのビジョンや 自らの政策を 堂々と訴えていく

**鈴木義弘県議** 失われた信頼を取り戻すしかない。我々は自民党だから支持されるわけではなくて、個人で選ばれるわけだから。それを踏まえて、基本をきちんとやっていく。それは現状批判だけじゃなくて、悪口を言うのじゃなく、自らの信念と意思を今まで以上に、ひとり一人に訴えていく。

今年は何を中心にして 政治を行いますか?

**鈴木義弘県議** 政治家がこういう国にしたいと言つて役人に対峙しないと駄目なんだよね。いい国にしてくれと役人に言うだけじゃなく、こういう教育うけさせたい、こういう社会にしたいというのがあって、現実や役所をやっていることが違うじゃないかと見えるの。今はほとんどの政治家はそうじゃないんだよね。そして政策が重要ですよ。ビジョンと政策、これを強く訴えていきます。



鈴木県議

**鈴木県議** 政治家がこういう国にしたいと言つて役人に対峙しないと駄目なんだよね。いい国にしてくれと役人に言うだけじゃなく、こういう教育うけさせたい、こういう社会にしたいというのがあって、現実や役所をやっていることが違うじゃないかと見えるの。今はほとんどの政治家はそうじゃないんだよね。そして政策が重要ですよ。ビジョンと政策、これを強く訴えていきます。

**鈴木県議** 最近の政治家は国民の

なんだということに戻させる仕組みが出来れば学習意欲はもつと出るはずなんです。

REPORT

補正予算 138億4,345万8千円を決定。
累計額は、1兆8,283億7,561万円に。

埼玉県議会12月定例会は、平成21年12月定例会は12月2日(水)から12月22日(火)まで開催されました。この議会では「平成21年度埼玉県一般会計補正予算第4号」をはじめとした重要案件が審議されました。本稿ではその概要を報告します。

県内情勢を踏まえ、
厳しい財政状況の中、
さらに努力

企業の景況感は一歩改善を示していますが、昨今の経済雇用情勢を見ますと、依然として県内の中小企業は厳しい状況が続いています。また、県内の9月の有効求人倍率は0.35倍と過去最低の水準となり、雇用情勢は深刻な状況にあります。産業は、埼玉県の豊かな未来を築く源泉であり、雇用の安定は暮らしの基盤であることは言を待ちません。

埼玉県の財政も厳しい状況にあります。手をとまねいてはいただけません。引き続き、県内経済の活性化とセーフティネットの充実に向け、さらなる施策の推進が必要です。一方、「今」への対応だけでなく、「将来」を見据えた埼玉県の未来の活力につながるような産業政策や人材育成など、中長期的視点に立った未来への投資にも積極的に取り組むことも忘れてはなりません。こういっただけを勘案して、この度の補正予算は編成されました。

医療施設の耐震化、
地域医療再生への
基金を設置

今回の補正予算では、「埼玉県医療施設耐震化基金」と「埼玉県地域医療再生基金」が設置されました。今後、この基金を活用し、耐震化の促進や周産期・小児救急医療体制の強化、地域における医療連携システムの構築などを進め、県民の安心・安全を高めることが期待されます。

県民生活を守る
セーフティネットの
充実も図る

また、新型インフルエンザワクチンの優先接種の対象となつていく方が、経済的負担を心配せずワクチン接種できるような、低額所得者に対する軽減措置も実施されます。さらに、経済不況を背景とした生活保護受給者の増加への対応や、

中小企業向け制度融資の利子補給金の増額などにより、県民生活を守るセーフティネットをさらに充実します。

そのほか、国の第二次補正予算に対応して、定住自立圏における民間事業者の取組に対する支援や、市町村における全国瞬時警報システムの整備を進めます。

一方、歳入のうち県税収入については、企業収益の減少などに伴い、法人二税を中心に大幅な減収が見込まれます。このため、今回の補正予算において、307億7,100万円の減額を行うこととなりました。

なお、県税の減額に対する財源の補てんについては、減収補てん債を活用することとし、事業の執行に支障を生じないように措置をとることとなっております。

この結果、一般会計の補正予算額は、138億4,345万8千円となり、既定予算との累計額は、1兆8,283億7,561万円となります。

12月補正予算の主な内容(新規事業抜粋)

- 埼玉県医療施設耐震化基金の積み立て 33億5734万4千円
埼玉県地域医療再生基金の積み立て 50億962万5千円
新型インフルエンザワクチン優先接種に係る 38億499万5千円
低所得者の負担軽減など(新規) 629万6千円
定住自立圏における民間事業者の取組に対する支援 3億1140万円
全国瞬時警報システム(J-ALERT)の整備促進 4億4612万円

第22回三郷市空手道大会
空手大会で子供たちを激励
テレビ埼玉でインタビュー放映
委員長として今後の抱負を語る

- 平成21年
11月 1日 第25回三郷市綱引大会(栄中学校体育館)、第42回市民文化祭パレード(丹後小学校)
11月 3日 第23回三郷市民祭り(早稲田公園周辺)、第21回全国生涯学習フェスティバル閉会式(さいたまスーパーアリーナ)
11月 7日 県立三郷北高等学校創立30周年記念式典(三郷市文化会館)
11月 8日 第41回三郷市剣道大会(栄中学校体育館)彩の国・歯の祭典2009~三郷市学校歯科保健表彰式(三郷文化会館)
11月 9日 江戸川新橋建設促進協議会両県要望(埼玉県庁)~党勢回復会議「オープンヒアリング」(埼玉県連)
11月11日 埼玉県戦没者追悼式(埼玉会館)
11月12日 第42回(社)埼玉県調理師会(三郷文化会館)
11月15日 平成21三郷市消防団特別点検(三郷市役所東側駐車場)、三郷カラオケ連盟第22回発表会(鷹野文化センター)
11月16日 平成21年度(財)埼玉県消防協会慰霊祭(消防学校)、江戸川新橋建設促進協議会両県要望(千葉県庁)
11月17日 第12回全国農業担い手サミットin埼玉(大宮ソニックシティ大ホール)
11月20日 委員会視察(埼玉県防災航空センター、埼玉県警察学校)
11月21日 産業フェスタ2009 第33回三郷市商工まつり(勤労者体育館・市役所広場)

ヨッシーの活動日誌
\*主に埼玉県議会議員としての公務を中心にした活動報告です。
11月22日 第24回桜杯女子サッカー大会「予選」(番匠免グラウンド)
11月26日 平成21年度埼玉県老人クラブ大会・指導者研修会(三郷市文化会館)
11月28日 ヨッシークラブ忘年会(ニューますや)
11月29日 第23回近隣少年柔道交流大会(三郷市総合体育館)
12月 2日 全国都道府県議会議長会自治功労者表彰記念品贈呈式及び表彰状伝達式(議事堂)、12月定例会開会(~22日まで)
12月 4日 第3回党勢回復会議(埼玉県連)
12月 5日 年末年始特別警戒取締り出陣式(吉川警察署)、第12回市展表彰式(三郷文化会館)
12月 6日 第26回三郷市スポーツ少年団全団交流駅伝大会(県営みさと公園)、3号公園・開園記念イベント(3号公園)
12月12日 鷹野2丁目集会所竣工式(鷹野2丁目)
12月17日 三郷市体育協会NPO法人化に向けての会議(三郷市保健センター分室)
12月19日 さとっこクリスマス会(吉川市民交流センターおあしす)
12月20日 三郷市野球連盟平成21年度役員・審判納会(斉藤鮮魚店)
12月24日 三郷インター南地区土地区画整理組合起工式(事業敷地内)

埼玉県議会議員
鈴木よしひろ 47歳
連絡先/〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347

鈴木義弘(すすき・よしひろ)プロフィール
●昭和37年11月生●三郷市立吹上小~栄中学~日本大学第一高校~日本大学理工学部卒●参議院議員・(故)土屋義彦秘書~平成11年、埼玉県議会議員初当選(現在3期)●(社)越谷法人会青年部監事、市内小学校PTA顧問、県立三郷高校PTA・後援会顧問、三郷市スポーツ少年団顧問、三郷リトルシニアチーム会長、三郷市サッカー協会会長、三郷市囲碁将棋連盟顧問等